

# 保護者・学生のためのより詳しい説明

実際の入試問題を使って、この講座の効果をご説明します

9/10

## アカデミック英語 No.5

### 英語で定義する・例示する —— namely・such as・that isを使った説明技術

★ 清光学院の講師は、大学教員としてこれまでに皆さんのお子さんと同じ志を持った先輩受験生たちの答案を何十年も採点し合否判定を行ってきた当事者です。英語記述で「It is a thing that～」という漠然とした説明をした答案と、namely・such as・that isを使って明確に定義・例示した答案の評価の差を、採点者として繰り返し目にしてきました。

#### 1. この講座が有効な入試問題のタイプ

##### ① 英語で概念・専門用語を定義する問題

東京大学・慶應義塾大学医学部の英語では、「以下の医学用語をあなた自身の言葉で定義せよ」という問題が出題される。namely（すなわち）やthat is（つまり）を使って明確に定義できる受験生は、採点者（大学教員）に「英語での概念整理力がある」と評価される。

##### ② 医学的概念を例示して説明する問題

「インフォームドコンセントとは何か、例を挙げて説明せよ」という問いは、医学部推薦入試で出題される。such as（例えば）を使って具体例を挙げながら説明できる受験生は、抽象的な説明のみの答案との差が明確になる。

##### ③ 英語面接・口頭試問での説明技術

「Please explain what evidence-based medicine means.」という問いは、英語面接で定番である。namely・that isを使って30秒で定義を説明できる受験生は試験官（大学教員）に際立つ。

#### 2. 具体的な大学・学部との対応

大学・学部	出題の傾向	本講座との対応
東京大学・慶應義塾大学 医学部	英語で概念・専門用語を定義する問題	namely・that isの使用が採点者に「定義する力」を示す
東京科学大学・順天堂大学 医学部	英語での例示・説明問題	such asを使った具体例が抽象的説明との差を生む
関西医科大学・近畿大学 医学部	英語で医学概念を説明する問題	定義・例示の構造が採点者（大学教員）に説明技術を示す
医学部推薦・総合型選抜（全般）	英語での概念定義型の口頭試問	namely・such as・that isで即答できる受験生として際立つ

#### 3. なぜ差がつくのか・受講後に期待できる変化

英語で概念を説明するとき「It is important.」という曖昧な記述しかできない受験生は、採点者が求める「定義・例示の技術」を示せない。授業の詳細な内容はここでは述べないが、受講後には（1）namely・that isを使って英語で概念を明確に定義できる、（2）such asを使って具体例を挙げながら説明できる、（3）英語面接で「定義する・例示する」技術を使って即答できる、という変化が起きる。

何十年も英語の答案を採点してきた清光学院の講師陣は、英語記述問題で「曖昧な説明の答案」と「namely・such as・that isを使った明確な答案」の評価の差を採点者として知っている。